

人吉市立東間小学校創立150周年記念式典

実行委員長 あいさつ

本日は、人吉市立東間小学校150周年記念式典を開催するにあたり、人吉市長 松岡隼人様をはじめ、多数のご来賓の皆様方におかれましては、ご多用の中、ご臨席賜りまして、誠にありがとうございます。

また、創立150周年事業を進めるにあたり、ご支援ご尽力を賜りました人吉市教育委員会様、藍田財産区様、町内会長様、地域企業、地域住民の皆様、そして先生方、保護者の皆様には、厚く御礼申し上げます。

東間小学校は、150年前の今日、明治6年10月1日に開校し、この150年間で多くの卒業生が学び舎を巣立ちました。

私もその中の1人で、在校中には120周年を経験し、この学校で友達といろいろな思い出を作り、成長できました。学校を卒業し28年、今度は保護者として学校に関わる中で、実行委員長として150周年の節目を迎えられたことは感慨深く、光栄に思います。

今年度のPTAスローガンである「記録よりも記憶を」を胸に、児童代表の6年生、5年生の皆さん、今日、この日、この1年を記憶に刻んでください。君たちが次の節目へ繋ぎ、紡ぐ子供たちであると信じ、私たち保護者はもちろん、地域の皆様とともに、これからも全力で君たちの明るい未来と学校を全力でサポートしてまいります。

あいさつの結びに、この150周年を迎えるにあたり、早くから周年事業積み立てをしていただいた歴代PTA会長の皆様、保護者OBの皆様、そして現PTA会長の山本誠一郎様はじめ、本部役員、運営委員会の皆様、先生方にご協力、ご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、子供たちの心のふるさとである東間小学校が、今後ますます発展することを祈念し、実行委員長のあいさつ並びに創立150周年のお祝いの言葉に代えさせていただきます。

令和5年10月1日

人吉市立東間小学校創立150周年記念 事業実行委員会

委員長 椎葉 泰一